

議会が実施した行政評価に関する決議について

本市議会は、議会が実施した行政評価に関し、市に提言するため、別紙のとおり決議するものとする。

平成27年11月4日 提出

提出者 周南市議会予算決算委員会  
委員長 土 屋 晴 巳

(別紙)

### 議会が実施した行政評価に関する決議

周南市議会では、予算決算委員会において、市が実施している事務事業を市民の目線で評価し、その評価結果をもって次年度の予算編成に反映させるため、決算審査における議会としての行政評価を実施した。

具体的には、対象事業として11事業を抽出し、事業目的や成果等を検証する中から、今後の事業の方向性として、「拡充する」を「1」、「現状維持」を「2」、「縮小する」を「3」、「廃止する」を「4」とし、議会としての評価意見をまとめた。

については、今後の事業の方向性について、下記のとおり提言する。

### 記

新南陽総合支所整備検討事業費	
方向性	事業に対する評価
2	周南市全体のまちづくりにおける位置づけについては、場所も含め、十分な検討が必要である。さらに現在の敷地の有効活用について、また消防との一体的な整備の方針について、行政として職員がもっと積極的に取り組み、住民の合意と理解を得ながら進めていくべきである。

鹿野総合支所整備検討事業費	
方向性	事業に対する評価
2	現在、元役場とコアプラザかのの2カ所に分かれており、経費が膨らんでいる。地域住民への行政サービス、利便性、ランニングコスト等を総合的に考え、早い時期に進めるべきである。 候補地選定など住民の理解と合意を得ながら、また、金融機関の関係についても行政が積極的に取り組み、事業を進められたい。

コミュニティ推進事業費	
方向性	事業に対する評価
1	コミュニティ推進事業費補助金については、各地区均一に 205,000 円を交付しているが、補助金の拡充を含めて、各地区の規模や活動状況に応じた対応を検討すべきである。また、その用途についても、イベント補助のみになっていないかなど、適正に執行されているか、検証をすべきである。

U J I ターン促進事業費	
方向性	事業に対する評価
1	取り組みの実績が見えない。我が市の魅力を訴え、全国的に特化した施策に再構築していく必要がある。そのためには、成功している先進地の手法を研究するとともに、移住者のニーズをしっかりと把握していかなければならない。 また、移住のためには生活できるだけの就労の場の確保が必要であり、「まち・ひと・しごと創生法」の目的と合致することが求められる。

放課後子ども教室推進事業費	
方向性	事業に対する評価
1	家庭・地域・学校が連携し、子供たちを見守り、育てる有意義な取り組みであり、児童クラブとの連携も重要である。多くの地域ボランティアに支えられた事業であるが、地域によって取り組む体制に格差があり、また事故等が発生した場合の組織体制などの課題もある。 資金面の確保を含めて、全市的な充実を進めていく必要がある。

<b>学校給食材料費</b>	
方向性	事業に対する評価
<b>1</b>	地産地消を推進しながらも、安心・安全を最優先に、食材の調達方法・チェック体制を検討していく必要がある。食材を安定した価格で安定して確保できるよう、先進事例を参考にし、また複数のルートを持つなど、研究をしていく必要がある。

<b>嶽山荘管理運営事業費</b>	
方向性	事業に対する評価
<b>1</b>	高齢者のひとり暮らしの方の居場所づくりとしても大きく貢献している。年間利用者数も4万人を超えており、老朽化した施設の改善方針を早急に示すとともに、老人休養ホーム機能の拡充に向けた管理運営方法についても検討すべきである。 送迎バスについては市西部や北部を含めたルートを検討するべきである。

<b>老人福祉センター管理運営事業費</b>	
方向性	事業に対する評価
<b>1</b>	利用者も多く、可能な限り維持していかなければならない施設であるが、耐震性がないこと、またバリアフリー対応の必要があること等から、施設改善の方針を示す必要がある。

<b>資源物団体回収推進事業費</b>	
方向性	事業に対する評価
<b>1</b>	登録団体は子供会、自治会、PTAがほとんどで、さらに地域によって取り組みに差があり、もっと積極的な周知活動が必要である。ごみの減量化・再資源化の意識向上の方策とあわせ、現在1キログラム当たり4円の報奨金額についての検討も必要である。

消費生活事業費	
方向性	事業に対する評価
1	消費者問題は複雑化・巧妙化している。相談・助言は、市民生活の安心安全からも不可欠な事業である。研修によって専門相談員の資質向上を図り、また国・県とも連携して可能な限り相談に対応できるようにするなど、被害軽減に向けた取り組みを進められたい。 また時代にあった情報の発信が重要であり、しゅうなんメールを活用するなど、より多くの方への啓発活動を進めることが必要である。

雨水対策事業費	
方向性	事業に対する評価
1	安心安全の根幹となる事業であり、計画的かつ迅速に進めなければならない。少しでも早く進められるよう予算の拡充に努められたい。 また、優先順位をつけ計画を策定するに当たっては、しっかりした調査の裏付けを持って進められたい。

以上、決議する。

平成27年11月4日

山口県 周南市議会